

のびゆく中和っ子

かしこく なかよく 元気よく
～学び合い、高め合い、ふるさとと共に歩む中和っ子～
旭市立中和小学校 令和5年9月15日 NO. 8

今年の暑さは、例年になく厳しく、現在も日中の気温は30度を超えています。児童は熱中症の危険と向き合いながら2学期の学校生活を送っています。

9月のスタートダッシュ。子ども達の生活、気持ち、習慣をより早く元に戻していきたいと思います。児童会からも「きまりや時間を守って行動しよう」という生活目標が示され、挨拶運動も実施中です。中和っ子のパワー全開。2学期も教育活動を充実させ、「実りの秋」にしていきたいと思います。



夏休みの中和っ子の活躍

7月31日 旭市子ども議会が開かれました。中和小からは、6年生の岩崎さんが代表として参加し、「旭市を農業で有名にしよう」という題名で、質問しました。具体的には、旭市の自慢である農業を生かし「農業体験施設をつくる」「農業体験イベントを実施する」ことで、多くの人々が旭を訪れ、市の知名度を上げ、将来的には、「移住者を増やす」という内容でした。旭市の将来を考える子供らしい発想の発表でした。



車椅子を利用するのは本校6年生の宮崎さん親子です。「夏休み学生ボランティア体験スクール」での一場面です。社会福祉法人旭市社会福祉協議会が主催したこのイベントに、本校からも複数の児童、親子が参加しました。福祉教育を推進する中和小学校から、こういった学校外のイベントに自主的に参加する方々が増えてくれて本当にうれしい限りです。当日は、「点字を知ろう」「車いすを体験しよう」「非常食を知ろう」と三つの体験が行われました。

夏休み前に取り組んだ「夏の席書会」では、全校で11名の児童が自主的に練習に取り組み、素晴らしい作品が出品されました。現在、さすがね学級の廊下にその力作が掲示してあります。6年 加瀬さん 5年 遠藤さんの作品は「書星会賞」を受賞しました。おめでとうございます。

保護者の皆さんも大活躍

8月19日旭市PTAバレーボール大会がありました。旭二中チームと戦い、惜しくも敗れたものの、チームワークの良さは市内ナンバーワン！家庭とはちょっと違う「カッコいいお母さん」の姿を見せてくれました。また、9月6日にはPTA奉仕作業がありました。猛暑の中での草刈り作業、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。



夏休み中の頑張りが様々な場面で輝きます。

8月25日に予定していた「稲刈り」は、稲の生育が早まった関係で、児童の体験は中止とし、田んぼの先生杉崎さんにコンバインで刈っていただきました。児童数の減少から田んぼの作付け面積を減らしたものの30キロの袋、2袋分が収穫できました。急な変更にも関わらず、保護者の皆様には、ご理解いただきましてありがとうございました。

この日に提出された夏休みの宿題が、今は、教室の廊下にずらりと並んでいます。どの作品を見ても、時間をかけてアイデアを生かし、しっかりと仕上げられています。おうちの方の支援もかなりあったかと思えます。それだけに、作品も素晴らしく、親子の頑張りを感ぜさせるものです。

千教組東総支部第二地区協議会長賞受賞

6年 菅谷さんの科学工夫工作が上記の賞を受賞しました。作品名は「植物に水をあげる装置」で、スイッチを押すと自動で水が上がり、水やりができるのだそうです。この作品は、旭市の代表作品として、千葉県科学工夫作品展に出品されます。



日頃の備えと訓練が大切 台風13号直撃

9月8日 児童が登校を終えた午前8時過ぎに旭市に大雨警報が発令されました。干潟中学区の学校間で連絡を取り合う中、9時前、今度は「土砂災害警戒レベル3」が出されました。中和小学校の危機管理マニュアルではこれにより、「ひかた市民センターへの避難と保護者への引き渡し」となります。まさに、5月の避難訓練で想定した通りの現実が起きました。状況説明と対応の共通理解を職員と行い、9時30分避難開始。ほぼ同時にメールとテトルの両方で家庭への連絡、市民センターや各方面と連絡をとり、9時50分に全校児童の避難が終了しました。その後保護者引き渡しを行いました。市民センターで引き渡し待機中には「土砂災害警戒レベル4（避難指示）」の防災無線が流れました。

児童の避難行動は実に素晴らしかったです。担任の指示をしっかりと聞き、「おかしも」の避難の約束を守りつつ、とても迅速に避難できました。ここ2年、市民センターへの避難訓練と保護者引き渡しの訓練を実施してきました。日頃の訓練が、いざという時の支えになることを強く実感しました。近年の日本における災害状況を見ると、「想定外」のことが起こることがあたり前になっているように感じます。児童の安全を最優先し、安全のための日常指導や危機管理マニュアルの見直しなど、常に備え、考え、対応を改善していきたいと思えます。保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。